



2015年3月期 決算の概要

1 契約の状況	1 ページ	4 資産運用の状況	6 ページ
2 損益の状況	4 ページ	5 基礎利益の状況	8 ページ
3 資産・負債の状況	5 ページ	6 健全性の状況	9 ページ

株式会社 かんぽ生命保険
2015年5月15日

※1 データは、いずれも単体ベースのものです。
※2 件数及び金額は、切り捨てています。
※3 本資料は、一般公衆への情報提供を目的とするものであり、当社の株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。

1 契約の状況①

- 個人保険の新契約は、238万件、金額7兆25億円
- 個人年金保険の新契約は、13万件、金額4,935億円

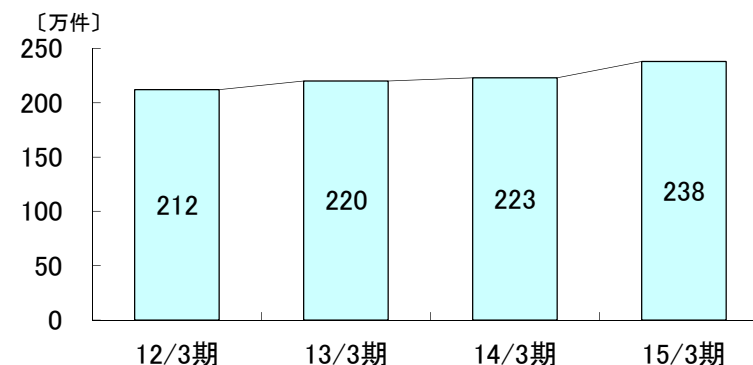
< 新契約の内訳 >

		2015/3期		2014/3期	
		件数	金額	件数	金額
個人保険		238 万件	7 兆 25 億円	223 万件	6 兆 5,598 億円
	終身	59 万件	2 兆 545 億円	65 万件	2 兆 1,794 億円
	養老	112 万件	3 兆 5,460 億円	139 万件	4 兆 1,877 億円
	学資	66 万件	1 兆 3,996 億円	17 万件	1,911 億円
個人年金保険		13 万件	4,935 億円	14 万件	5,240 億円

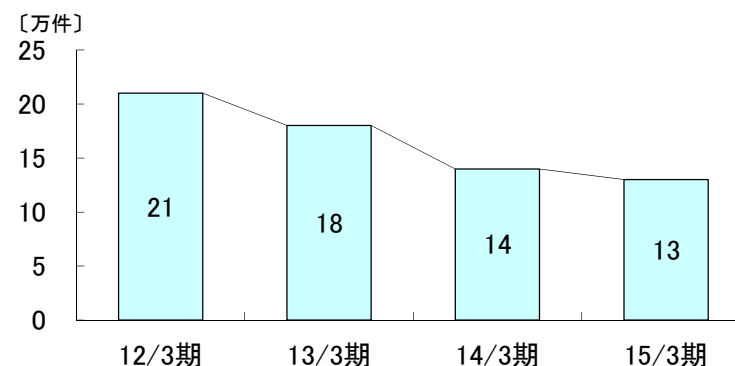
- ※1 主な項目について掲載しております。
 ※2 個人保険の金額は、死亡時の支払保険金額等です。
 ※3 個人年金保険の金額は、年金支払開始時における年金原資です。
 ※4 2015/3期の「学資」欄は、2014年4月に発売した学資保険(はじめのかんぽ)を計上しております。
 ※5 件数及び金額については、当期末決算より、過去分を含めて、四捨五入から切り捨てに変更しております。

< 新契約の推移 >

個人保険(件数)



個人年金保険(件数)



1 契約の状況②

- かんぽ生命の保有契約は、個人保険1,353万件、金額39兆1千億円、個人年金保険131万件、金額3兆6千億円
- 個人保険と簡易生命保険契約の保険を合計した保有契約は、3,348万件

< かんぽ生命の保有契約の内訳 >

	2015/3期 期末		2014/3期 期末	
	件数	金額	件数	金額
個人保険	1,353 万件	39 兆 1,590 億円	1,166 万件	33 兆 7,356 億円
終身	325 万件	10 兆 7,604 億円	278 万件	9 兆 1,337 億円
養老	833 万件	25 兆 500 億円	756 万件	22 兆 7,364 億円
学資	193 万件	3 兆 3,308 億円	132 万件	1 兆 8,484 億円
個人年金保険	131 万件	3 兆 6,159 億円	119 万件	3 兆 4,438 億円

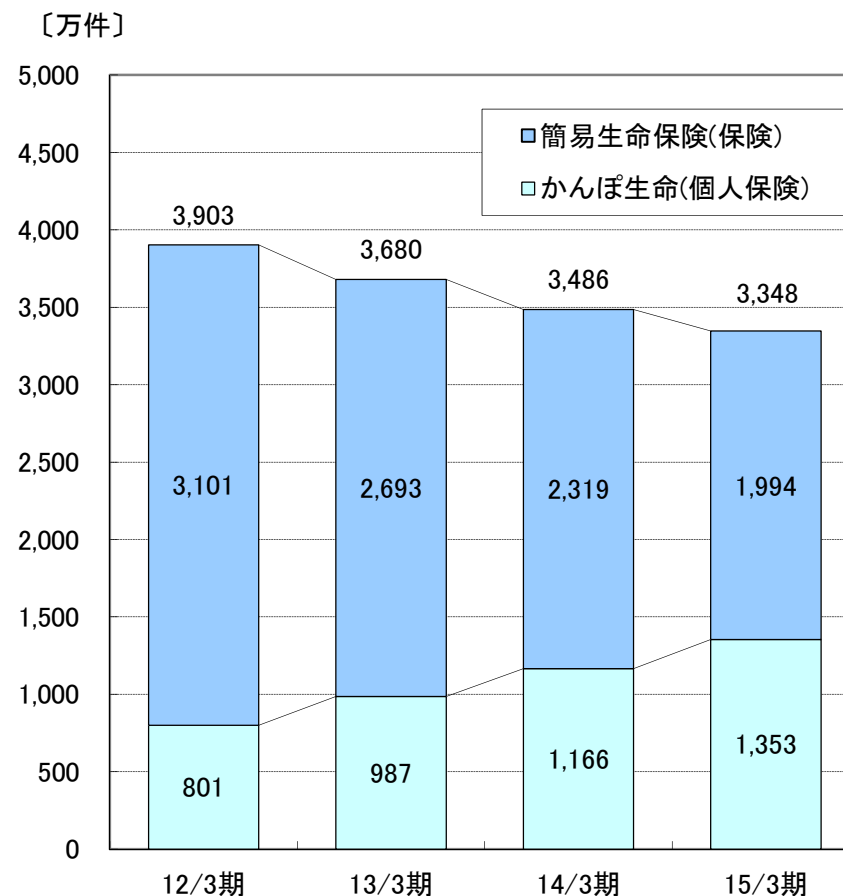
※1 主な項目について掲載しております。

※2 個人保険の金額は、死亡時の支払保険金額等です。

※3 個人年金保険の金額は、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金額を合計したものです。

※4 件数及び金額については、当期末決算より、過去分を含めて、四捨五入から切り捨てに変更しております。

< 保有契約の推移 >



1 契約の状況③

- 新契約の年換算保険料は、個人保険4,578億円、個人年金保険1,625億円
- 保有契約の年換算保険料は、個人保険2兆5,268億円、個人年金保険6,738億円

< 年換算保険料の内訳 >

《新契約》

	2015/3期	2014/3期
個人保険	4,578 億円	4,390 億円
個人年金保険	1,625 億円	1,798 億円

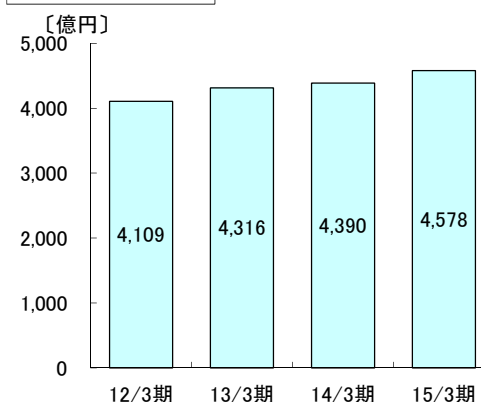
《保有契約》

	2015/3期 期末	2014/3期 期末
個人保険	2 兆 5,268 億円	2 兆 1,922 億円
個人年金保険	6,738 億円	6,614 億円

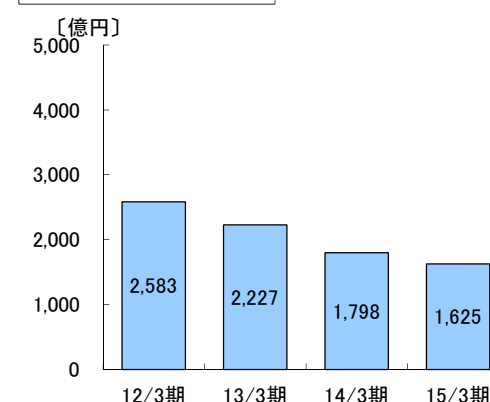
- ※1 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です（一時払契約等は、保険料を保険期間等で除した金額）。
- ※2 保有契約はかんぽ生命の保有契約であり、簡易生命保険契約は含んでおりません。
- ※3 年換算保険料については、当期末決算より、過去分を含めて、四捨五入から切り捨てに変更しております。

< 年換算保険料の推移 >

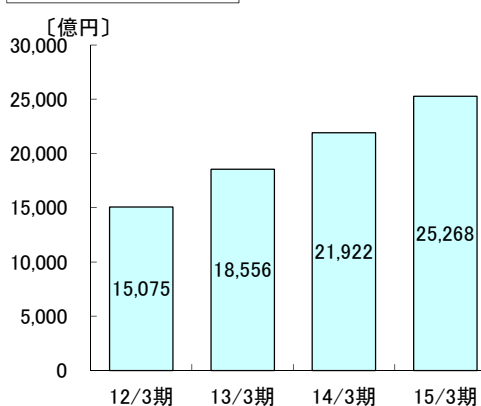
新契約（個人保険）



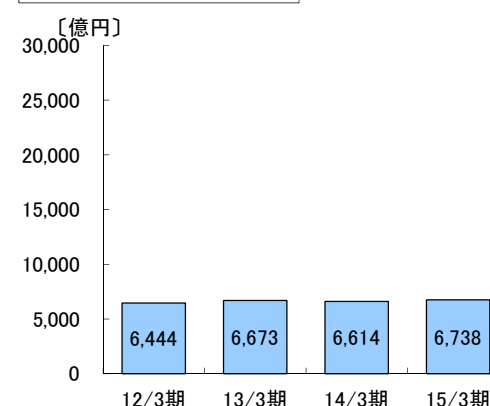
新契約（個人年金保険）



保有契約（個人保険）



保有契約（個人年金保険）



2 損益の状況

■ 経常利益は4,931億円、当期純利益は817億円

< 損益計算書の概要 >

	2015/3期	2014/3期	増減
経常収益	101,692	112,339	△ 10,646
保険料等収入	59,567	59,116	450
資産運用収益 (注1)	14,607	15,406	△ 798
責任準備金戻入額	26,328	36,564	△ 10,236
経常費用	96,760	107,704	△ 10,943
保険金等支払金	90,595	101,608	△ 11,013
資産運用費用 (注2)	109	181	△ 71
事業費	5,124	5,130	△ 6
経常利益	4,931	4,635	296
特別損益 (注3)	△ 993	△ 999	6
契約者配当準備金繰入額	2,007	2,421	△ 414
税引前当期純利益	1,930	1,213	717
法人税等合計	1,113	579	533
当期純利益	817	634	183

〔単位：億円〕

※ 主な科目について掲載しております。

注1 資産運用収益は、利息及び配当金等収入
1兆3,657億円、有価証券売却益 619億円等です。

注2 資産運用費用は、有価証券売却損 49億円
等です。

注3 特別損益は、価格変動準備金繰入額
979億円等です。

3 資産・負債の状況

■ 総資産は84.9兆円、純資産は1.9兆円

< 貸借対照表の概要 >

	2015/3期 期末	2014/3期 期末	増減
資産	849,119	870,886	△ 21,766
現金及び預貯金	22,059	16,635	5,423
金銭の信託	14,349	5,816	8,533
有価証券	662,772	693,789	△ 31,017
国債	480,864	525,229	△ 44,364
地方債	95,558	91,737	3,820
社債	66,524	64,418	2,106
外国証券	19,814	12,394	7,420
貸付金 (注1)	99,773	110,205	△ 10,432
繰延税金資産	5,482	5,926	△ 444
負債及び純資産	849,119	870,886	△ 21,766
負債	829,428	855,541	△ 26,113
保険契約準備金 (注2)	779,056	807,999	△ 28,942
価格変動準備金	7,121	6,142	979
純資産	19,691	15,344	4,346
株主資本合計 (注3)	14,110	13,496	614
評価・換算差額等合計	5,580	1,847	3,732

〔単位：億円〕

※ 主な科目について掲載しております。

注1 貸付金の内訳は、機構貸付 9兆969億円、一般貸付 8,062億円、保険約款貸付 740億円です。

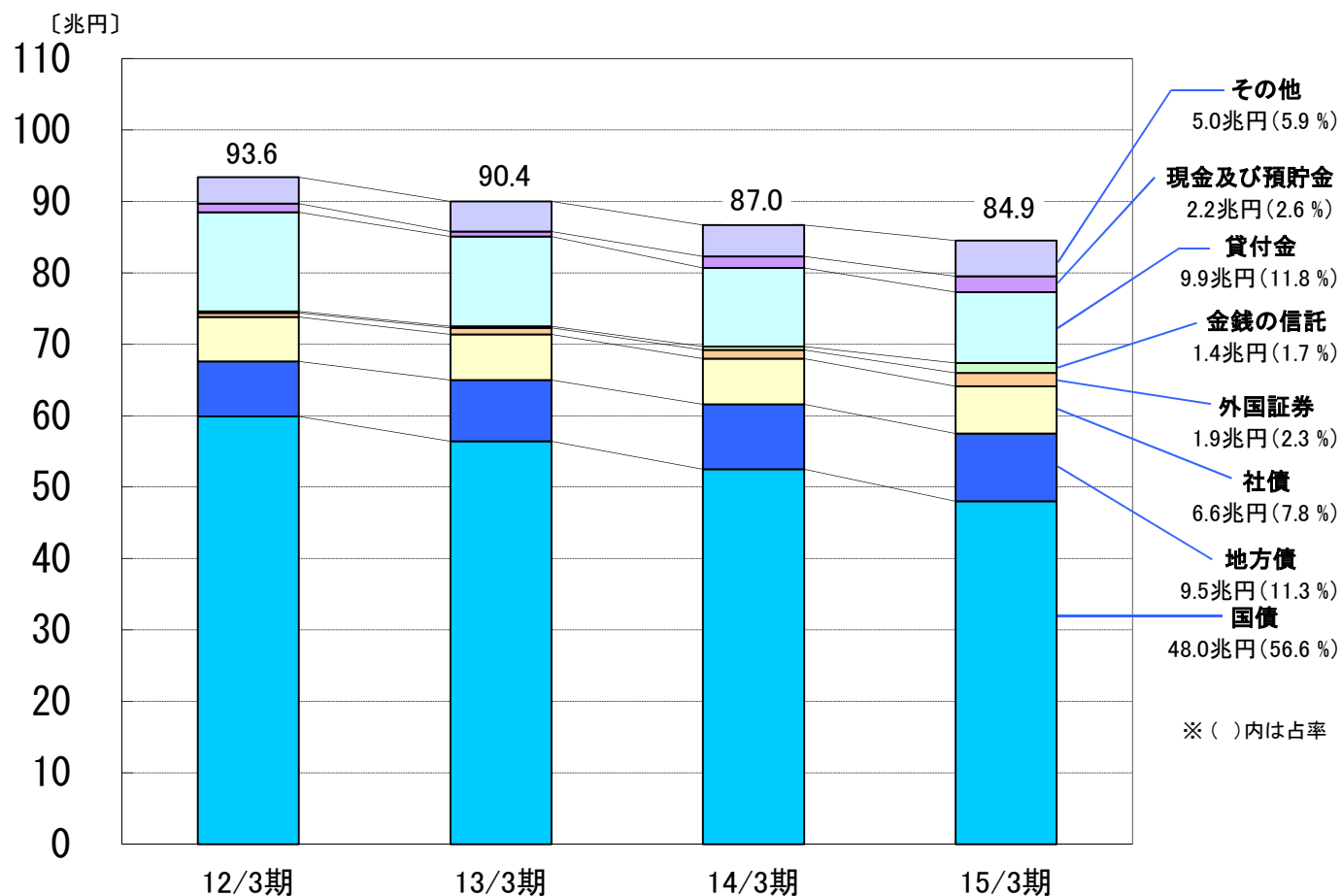
注2 保険契約準備金の内訳は、責任準備金 75兆1,126億円、支払備金 7,181億円、契約者配当準備金 2兆749億円です。

注3 株主資本合計 614億円の増加は、退職給付会計基準の改正に伴う期首残高の取崩し 35億円、株主配当金の支払い 168億円、当期純利益の計上 817億円によるものです。

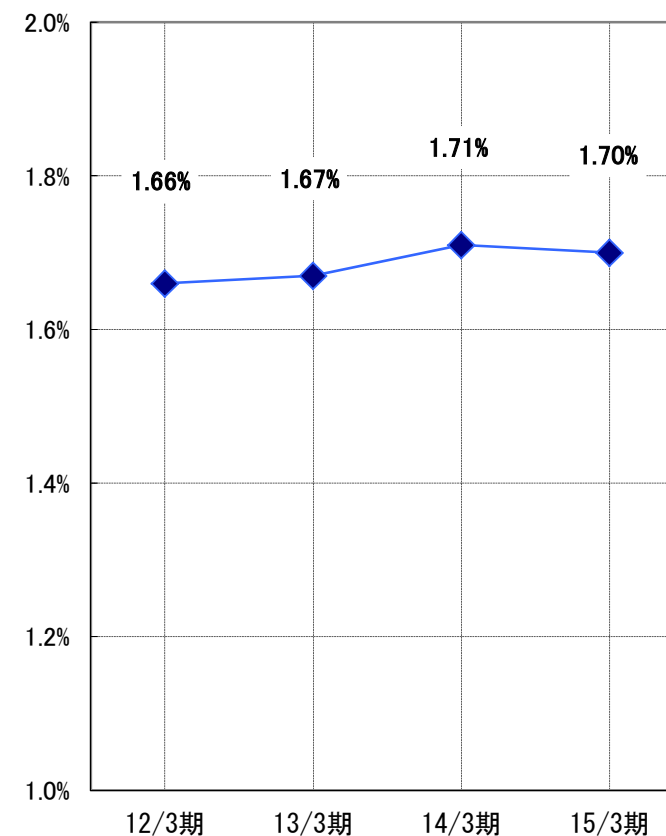
4 資産運用の状況①

■ 資産運用は、国債を中心とした有価証券が66兆円、貸付金が9兆円等

< 資産構成の推移 >



< 運用利回りの推移 >



※ 運用利回りは、キャピタル損益等を含めた利回りです。

4 資産運用の状況②

- 満期保有目的の債券及び責任準備金対応債券を含めた有価証券全体の含み益は、6兆4,940億円
- その他有価証券の含み益は、7,817億円（税効果適用後は5,580億円）

< 含み損益の状況 >

	2015/3期 期末		2014/3期 期末	
	帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益
合 計	68 兆 6,735 億円	6 兆 4,940 億円	70 兆 5,058 億円	4 兆 5,344 億円
満期保有目的の債券	43 兆 6,955 億円	4 兆 5,371 億円	45 兆 2,573 億円	3 兆 1,697 億円
責任準備金対応債券	15 兆 4,932 億円	1 兆 1,752 億円	17 兆 9,536 億円	1 兆 991 億円
その他有価証券	9 兆 4,847 億円	7,817 億円	7 兆 2,948 億円	2,655 億円
うち 金銭の信託	1 兆 797 億円	3,552 億円	4,990 億円	825 億円

※ その他有価証券の含み損益は、税効果適用前の金額です。税効果適用後の含み損益は、5,580億円(2015/3期 期末)、1,847億円(2014/3期 期末)です。

< 金銭の信託で保有する国内株式の含み損益がゼロになる株価水準 >

	日経平均株価
2015/3期 期末	13,700 円
2014/3期 期末	12,000 円
2013/3期 期末	9,800 円
2012/3期 期末	9,900 円

※ 金銭の信託で保有する国内株式の含み損益がゼロになる株価水準は、決算期末日に保有する株式の時価が日経平均に連動して変化するものとして算出しています（100円未満を切り捨てています）。

< 参考指標 >

	日経平均 株価	円ドル	円ユーロ	円金利 (10年国債)
2015年3月末	19,206 円	120.17 円	130.32 円	0.400 %
2014年3月末	14,827 円	102.92 円	141.65 円	0.640 %
2013年3月末	12,397 円	94.05 円	120.73 円	0.560 %
2012年3月末	10,083 円	82.19 円	109.80 円	0.985 %

※ データ提供元：©日本経済新聞社、野村総合研究所、Bloomberg

5 基礎利益の状況

- 危険差益及び順ざやの拡大により、基礎利益は5,154億円

< 基礎利益の内訳（三利源） >

	2015/3期	2014/3期	増減	2013/3期
基礎利益	5,154 億円	4,820 億円	333 億円	5,700 億円
危険差益	3,420 億円	2,904 億円	515 億円	3,852 億円
費差益	1,063 億円	1,373 億円	△ 309 億円	1,895 億円
利差益	669 億円	542 億円	127 億円	△ 47 億円

※ 基礎利益は、経常利益から有価証券の売却損益等の「キャピタル損益」と危険準備金の繰入・戻入等の「臨時損益」を控除したものです。また、基礎利益の内訳は内部管理上算定しているもので、「危険差益」は予定死亡率と実際の死亡率との差等から生じる利益（法令により積み立てるべき標準責任準備金の積増額を含みます。）、「費差益」は予定事業費と実際の事業費等との差による利益、「利差益」は実際の運用利回り（利子利回り）が平均予定利率を上回ることにより生じる利益です。

<（参考）基礎利益上の平均予定利率 >

	2015/3期	2014/3期	増減	2013/3期
平均予定利率	1.80 %	1.84 %	△ 0.04 %	1.88 %
利子利回り	1.89 %	1.91 %	△ 0.02 %	1.87 %

※ 1 平均予定利率は、予定利息の経過責任準備金に対する利回りのことです。

経過責任準備金は、危険準備金を除いた責任準備金により次の式で計算しています。（期始責任準備金＋期末責任準備金－予定利息）× 1 / 2

※ 2 利子利回りは、基礎利益上の運用収支（キャピタル損益を含まない運用収支）等の経過責任準備金に対する利回りのことです。

6 健全性の状況

- 負債として積み立てた内部留保は、危険準備金2兆4,987億円及び価格変動準備金7,121億円を合わせた3兆2,108億円
- 追加責任準備金は、6兆670億円

< 内部留保の積立状況 >

	2015/3期 期末	2014/3期 期末
危険準備金	2 兆 4,987 億円	2 兆 5,887 億円
価格変動準備金	7,121 億円	6,142 億円
内部留保合計	3 兆 2,108 億円	3 兆 2,030 億円

< 追加責任準備金の積立状況 >

2015/3期 期末	2014/3期 期末
6 兆 670 億円	6 兆 1,353 億円

※ 追加責任準備金には、独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構からの受再保険の終身年金等を対象に、2011年3月期より10年間にわたり新たに追加して積み立てることとした金額（2015/3期 積立額 1,764億円、累計 8,505億円）を含みます。

< ソルベンシー・マージン比率 >

2015/3期 期末	2014/3期 期末
1,641.4 %	1,623.4 %

※ ソルベンシー・マージン比率の値は、法令等の規定に基づいて算出しております。

< 実質純資産額 >

2015/3期 期末	2014/3期 期末
11 兆 5,122 億円	9 兆 4,422 億円

※ 実質純資産額は、有価証券の含み損益等を反映し時価評価した資産の額から、危険準備金や価格変動準備金等を除いた負債の額を差し引いたものです。